

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局	開 会
小林会長	(会長あいさつ)
事務局	続きまして、市長から 挨拶を申し上げます。
市長	(市長あいさつ) ※あいさつ後、所用につき退席
事務局	(資料の確認)
事務局	それでは、本日の議事に移りたいと存じます。以後の進行につきましては、「加須市国民健康保険に関する規則」第6条第2項の規定により、小林会長にお願いいたしたいと存じます。
小林会長	それでは、以降の進行につきまして、進めさせていただきます。まず初めに、「加須市国民健康保険に関する規則」第8条の規定によりまして、署名委員につきまして、次の2名を指名します。 小川 良雄 委員 木村 幸雄 委員よろしくお願いいたします。 協議事項(1)の「令和6年度加須市国民健康保険事業特別会計決算(案)について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。
国保年金課長	皆様、こんにちは。国保年金課長の渡部と申します。今年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。それでは、(1) 令和6年度加須市国民健康保険事業特別会計決算(案)につきまして、恐縮ですが、座ってご説明申し上げます。 では、お手元の資料1の1ページを、ご覧ください。始めに、「事業の概要」のうち、主な指標の説明を申し上げます。 まず、1の加入状況でございますが、世帯数での加入割合を見ますと、令和6年度は加須市の全世帯の30.3%、15,482世帯、また、人口での加入割合を見ますと、全人口の20.9%、23,414人が国保に加入しております。令和5年度と比べますと、世帯数及び被保険者数ともに減少しており、団塊の世代が国保を離れ、後期高齢者医療保険制度へ移る等により、減少傾向が続いております。 次に、2の保険税の収納状況、でございますが、表の一番右の列の収納率ですが、現年度分は94.9%と合併後の加須市として最も高い値であった昨年度を0.3ポイント上回り最高値を更新しております。滞納繰越分は35.1%となり、こちらも4.1ポイント上昇しております。

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
	<p>次に、3の一人当たり・一世帯当たり保険税の調定・収納状況、でございますが、令和6年度は、一人当たりの保険税の収納額は9万413円で5.5%、一世帯当たりの収納額は13万6,735円で3.9%、それぞれ前年度に比べ増加しております。</p> <p>次に、2ページをご覧ください。4の総医療費・一人当たりの医療費等の推移、でございますが、令和6年度の総医療費は、94億3,620万円となり、令和5年度と比べますと3.8%の減少、右となりの列に行きまして、一人当たりの医療費は、40万3,015円で0.4%の増でございます。医療費総額の減少は、被保険者数が減少していることが主な要因で、一方、一人あたりの医療費の増加は、医療にかかる率の高い65歳から74歳までの割合が増加傾向にあることや医療の高度化によるものと考えてございます。</p> <p>次に、5の国民健康保険事業費納付金でございますが、こちらは、埼玉県が各市町村の保険給付費等を交付する財源として徴収するもので、財源のほとんどを国保税で賄うことが原則とされております。しかし、加須市は税収だけでは賄えず、一つ下の表の一番右側の「法定外繰入金」欄にあるように、一般会計からの補てんを余儀なくされている状況です。</p> <p>次に、3ページをご覧ください。保険税収納額の推移、でございますが、一番上の表をご覧ください。上段が収納額、かっこ内が収納率でございます。令和6年度の現年度分の収納率は、94.9%となっております。先ほども申し上げましたが、合併後最も高い収納率でございます。下のグラフをご覧ください。棒グラフが収納額、折れ線グラフが被保険者数の推移を表しております。被保険者数の減少に伴い、収納総額も減少していることがお分かりになるかと存じます。</p> <p>次に、4ページをご覧ください。先ほどご説明いたしました収支不足を補てんする法定外繰入金の推移でございますが、決算については、令和5年度、令和6年度と減額しております。</p> <p>令和6年度は3億2,930万円と昨年につづき、予算5億2,758万1千円に対して、決算では、3億2千万円代に抑えております。ここまでは、令和6年度の国保事業の概要でございます。</p> <p>次に、5ページのA3横の資料をご覧ください。令和6年度の決算(案)の状況をご説明申し上げます。はじめに、上の表の歳入の概要をご説明申し上げます。歳入の総額は、【歳入の部】の表、左から2列目、令和6年度決算額①の一番下の合計欄のとおり、116億4,934</p>

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
	<p>万8千円で、令和5年度と比べますと、1.3%の減となりました。項目別に主なものを申し上げますと、まず、一番上、第1款国民健康保険税は、22億1,235万3千円で前年度比0.7%の増でございます。第3款 国庫支出金は、令和6年度は、マイナンバーカードと被保険者証の一体化に関するシステム改修を行ったため、経費に対する補助分が増えたため前年度比465万8千円増となっております。第4款 県支出金のうち、保険給付費等交付金は、療養給付などの費用に対して、県から交付されるもので、82億2,965万2千円で、前年度比3.7%の減額でございます。こちらも被保険者数の減少に伴い、医療費総額が減少したことによるものと推測してございます。第5款繰入金は、10億9,644万1千円で、前年度比1億3,167万9千円の増額でございます。第6款繰越金は、令和5年度からの繰越金ですが、8,465万1千円となっております。</p> <p>次に、歳出の概要を申し上げます。下の表をご覧ください。歳出の総額は、左から2列目、令和6年度決算額①の一番下の合計欄のとおり、114億2,907万3千円で、前年度に比べて2.5%の減額です。第1款総務費は、主に事務執行に必要な費用であります。第2款保険給付費は、いわゆる医療費で、療養給付費や出産育児一時金や葬祭費などがございます。保険給付費全体としては、80億8,598万2千円で、前年度比3.4%の減額となっており、減少の理由は、被保険者数の減少に伴い、医療費総額が減少したことによるものと推測しています。第3款国民健康保険事業費納付金は、先ほどご説明いたしましたとおり、市町村が県に納めるもので、令和6年度は30億3,915万2千円で前年度とほとんど変わりませんでした。第6款保健事業費でございますが、本市では、国保健診と呼んでいる、40歳以上を対象とする特定健康診査、生活習慣病重症化予防対策、人間ドック・脳ドック利用助成、保養施設利用助成などの保健事業費で1億680万3千円 前年度比1.5%の増でございます。令和6年度の決算収支につきましては、歳入合計から歳出合計を差し引いた、2億2,027万5千円の余剰が生じております。余剰分については令和7年度に繰り越し、交付金の精算時に発生する返還金の財源に充てる予定です。以上で、(1) 令和6年度 加須市国民健康保険事業特別会計決算(案)の説明とさせていただきます。ご審議のほど、よろしく願いたします。</p>
小林会長	事務局より、説明いただきました。何かご意見、ご質問がありましたら願いたします。なお、お手数ですが、ご発言につきまして

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
	ては、録音のため、必ずマイクを通してお願いいたします。
小林会長	<p>昨年、決算での保険給付費の状況、それから保健事業費の状況についてどのように総括されますかという質問をしましたがけれども、コロナ禍の影響はなくなり、それ以外の理由によつての増、もしくは減というご説明だったと思います。</p> <p>今回、令和6年度決算につきましては、どのように総括的に見ていらっしゃるか、お話いただければと思います。</p> <p>よろしくお願ひいたします。</p>
国保年金課長	<p>令和6年度の医療費の総括としましては、令和5年度に比べて総額的には減額しております。これはやはり、被保険者数が毎年、令和4年度から令和5年度もそうですが、1,000人近く、後期高齢者の方に移ったり、社会保険に入ったり等で、国保をやめる方がおりまして、急激に被保険者数が減っていることにより、総額自体は減ってきているということだと思っております。</p> <p>ただ、1人当たりの医療費は増えております。これは、65歳以上の高齢の方が占める割合が増えてきていることから、当然お医者さんにかかる率も増えてきておりますし、そういったことから1人当たりの医療費は増えてきているのかなと思っております。</p> <p>保健事業につきましては、人間ドック、それから脳ドック等の利用者が増えてきておりますので、皆さん、自分自身の健康管理というものについては、引き続き関心が高いのかなというのは歳出のほうからも感じているところでございます。</p>
岡田副会長	5ページの先ほどのご説明の中の、繰入金で、職員給与費が昨年に比べて倍以上、それから、産前産後保険税繰入金が5倍強となっておりますが、このことについてご説明をいただきたいと思ひます。
国保年金課長	こちらの職員給与費につきましては、職員の給与改定等により上がった部分と、令和9年度の準統一に向けて、本来、繰り入れてもいい経費などを見直したということがございます。また、印刷製本費とか物件費等も対象に入っており、その辺について物価高騰により増えた部分がございます。それと、産前産後保険税繰入金でござひますが、こちらは単純に該当する方が増えたということでございます。
国保年金課主幹	産前産後保険税繰入金について補足させていただきます。この制度につきましては、令和5年度の途中で始まりました。このため、令和5年度に比べ令和6年度は大きく増えております。
岡田副会長	職員給与費は、1億8,280万円で、これは総務費の方にいきますよ

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
	ね。そうすると1億4,280万円で、この4,000万円の違いはどのようなものでしょうか。
国保年金課主幹	総務費以外の人件費や物件費など、様々な項目にも該当しているため、差が発生しています。
小林会長	1ページの保険税の収納状況についてですが、先ほどのご説明で令和5年度が合併後、史上最高の収納率だったという話ですが、令和6年度はさらに0.3ポイントアップし、最も高い収納率ということですよ。それから、滞納繰越分も4.1ポイントもアップしたということですが、これはどういうお取り組みをされたのかお聞かせ願えればと思います。
荒井収納課長	この収納率の上昇でございますが、大きくは職員の頑張りというところが大きいのかなと思います。それとですね、令和4年12月に預貯金等照会電子化サービスというものを導入しまして、今までは銀行とか生命保険のお店店舗に行き、滞納者の預貯金について直接伺っていましたが、システムにより今回はオンラインでその照会をすることができるようになりました。これにより、きめ細やかな照会、検索、そういったものも含めて電子化できるようになりましたので、そのことも、収納率のアップに大きく貢献しているものだと思っております。
小林会長	オンライン照会というのは、被保険者に対するもの、それとも金融機関に対するものですか。
荒井収納課長	金融機関に直接照会するものでございます。
小林会長	2ページですね。国民健康保険事業費納付金が表として出ておりますけれども、事業費納付金が令和6年度は30億3,900万円余ということですが、このうち事業費納付金に対して、国保税の占める割合と、それから法定外繰入の占める割合が何%ぐらいになるかわかりになりますでしょうか。
国保年金課長	30億のうち、22億円分を税で賄っております。その他、所得が少ない方は均等割を7割5割2割と法定減免しており、その減免分につきましては、県から4分の3、加須市から4分の1、いわゆる法定内の繰り入れとして、一般会計から国保に5億円入れております。簡単に言いますと、30億円の納付金に対して、税22億、法定内繰り入れ5億円で27億円入ってきますので、残り3億円、この部分が、足りないので、令和6年度につきましては、3億円の法定外繰り入れという形でこの事業費納付金を賄っているところでございます。

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
小林会長	<p>ありがとうございました。他にございますでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、協議事項(1)の「令和6年度加須市国民健康保険事業特別会計決算(案)」は、承認ということで、よろしいでしょうか。</p>
各委員	(多くの委員から「はい」と言う声あり。)
小林会長	<p>次に協議事項(2)の「令和6年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計決算(案)について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
いきいき健康医療課長	<p>皆様こんにちは。いきいき健康医療課長の荒井でございます。</p> <p>それでは、令和6年度 加須市国民健康保険直営診療所特別会計決算(案)の概要について、ご説明申し上げます。</p> <p>7ページをお開きください。まず、上段の表、歳入につきまして、主なものといたしましては、第1款の診療収入でございまして、令和6年度の決算額が7,244万6千円で、前年度より3.9%の減でございます。この収入は、患者さんが受診したときに、例えば国保や社保では、自己負担分3割をいただき、残りの7割については、加入している国民健康保険団体連合会や社会保険診療報酬支払基金から診療報酬として診療所に入ってくる収入や予防接種料などでございます。</p> <p>3.9%減につきましては、予防接種料、健康診断等収入を除き全体的に減となっております。第2款の使用料及び手数料につきましては、往診を車で行った場合、1件当たり500円をいただいております。16件で8千円でございます。第3款財産収入につきましては、北川辺診療所施設整備等基金の利子で千円でございます。第4款繰越金につきましては、令和5年度からの繰越金で、2,218万4千円でございます。第5款の諸収入につきましては、6万6千円で前年度より51.1%減でございます。自動販売機を撤去したことなどにより減となったものでございます。歳入合計は、9,470万5千円で、前年度比7.2%の減でございます。</p> <p>次に、下段の表は歳出でございます。歳出につきましても、主なものをご説明させていただきます。第1款の総務費につきましては、診療所を運営していく上で、必要な経費でございまして、人件費や施設を維持するための光熱水費や委託料等が主な支出で、4,982万円でございます。第2款の医業費につきましては、診療に関わる薬剤や器材等の購入が中心でございまして、2,504万9千円でございます。第3款の施設整備費につきましては、患者待合室ドア交換修繕等を行い</p>

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
	<p>39 万円でございます。第4 款の基金積立金につきましては、今年度は利子分のみで1 千円でございます。第5 款の公債費は、診療所建物の元利償還金でございますが、平成 29 年度で完済となっております。歳出合計は、7,526 万円で、前年度比 5.8%減でございます。歳入合計 9,470 万 5 千円から、歳出合計 7,526 万円を差し引きしますと 1,944 万 4 千円となり、黒字決算となっております。</p> <p>次に8 ページをお開きください。まず、上段の表の施設整備等基金残高につきまして令和6 年度末現在で 3,081 万 8 千円となっております。また、下段の表の市債でございますが、先ほど、歳出の第5 款公債費で申し上げたとおり、平成 29 年度をもって完済しております。以上、簡単ではございますが説明とさせていただきます。</p> <p>もう1 つ追加でご報告させていただきます。4 月以降のいきいき健康医療課における関係機関への医師確保の取り組みでございますが、まず、加須市の医師で組織する加須医師会、加須市の地域医療の中心的な役割を担う埼玉県済生会加須病院の医局、また、埼玉県の医師で組織する埼玉県医師会、医療従事者の確保対策に取り組む埼玉県医療人材課、さらには、埼玉県で唯一医学部のある埼玉医科大学の医局、へき地等における地域医療の推進を図る自治医科大学の医局や地域医療振興財団、加須保健所など、考えられる場所や、伝手のありそうな方にも相談や協力を求め、改めて確認しましたが、良い返事はなかったところです。また、これらの機関と相談していく中で得た、医療機関誌や複数の医療職専門の求人サイトの情報を人事部門に提供し、両課で連携して取り組んでおります。現在、医師の募集について問い合わせはございますが、応募には至っておりません。以上でございます。</p>
小林会長	事務局より、説明いただきました。何かご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。
平井委員	私もこちらの診療所をずっと利用させていただいていましたが、荒木先生がお辞めになり、ちょっと困ったなという方のご意見がかなり耳に入ってくるんですね。皆さん、北川辺だけじゃなくて古河とかいろんなところの紹介状を書いていただいて、今までかかっていた先生が離れてしまうと、やっぱり、ちょっとウーンって感じでおっしゃっていて、1 日も早く、また再開していただければという希望が皆さんのご意見です。私も1 日も早くと思っております。
小林会長	医師の人材確保については、非常に厳しい状況であるというのは市

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
	<p>長さんからも、課長さんからもお話がありましたけれども、単に腕をこまねいているだけじゃなくて、いろんなどころの各機関に当たって何とか医師を見つけたいと努力されていることは十分よくわかりました。引き続き、ぜひご尽力のほどお願いしたいと思います。</p>
小林会長	<p>他にいかがでしょうか。ないようでしたら、協議事項(2)の「令和6年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計決算(案)について」は、承認ということで、よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(多くの委員から「はい」と言う声あり。)</p>
小林会長	<p>次に、協議事項(3)の「加須市国民健康保険データヘルス計画の進捗状況」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
いきいき健康医療課長	<p>続いて、資料2 加須市国民健康保険第3期データヘルス計画の進捗状況についてご説明させていただきます。令和6年度に改訂された第3期データヘルス計画は、「健康の保持増進」、「生活の質(QOL)の維持及び向上」が図られ、結果として「医療費の適正化」に資することを目的として策定されたものでございます。</p> <p>1ページをご覧ください。個別評価基準は、1の表の評価基準の区分としており、評価した結果は2の表のとおりとなります。7つの個別保健事業に対する評価項目数は、全体で22項目となりますが一部評価項目において、国保連合会が作成する集計ツールの提供を待っている状況のため、全体を19項目として説明させていただきます。1目標達成 12項目、2概ね達成 3項目、3やや遅れていると4大幅に遅れているは、各2項目となります。評価の詳細につきましては、4頁から8頁になりますので後でご覧ください。</p> <p>次に2ページをご覧ください。健康課題の解決に向けた全体評価です。初めに下段の(2)健康課題の解決に向けた取組評価についてご説明します。これは主に7つの健康課題に関連する個別保健事業の評価となります。評価項目数は、全体で18項目となりますが※印の一部評価項目において先ほど同様となるため、全体を11項目として報告させていただきます。1目標達成 6項目、2概ね達成 2項目、3やや遅れている 2項目、4大幅に遅れている 1項目となります。詳細の評価につきましては、9頁から13頁になります。後でご覧ください。次に上段の(1)計画全体の評価については、指標となる健康寿命の延伸は、65歳からの健康寿命として男性18.06歳、女性20.82歳と令和4年度のベースライン値と比べ、男性0.2歳、女性0.15歳延伸しております。医療費の適正化は、生活習慣病一人当た</p>

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
	<p>りの医療費は、115,241 円は令和4年度のベースライン値と比べ13円増となりほぼ維持しており、健康寿命の延伸、医療費の適正化ともに、目標達成、概ね達成となっております。これは、既に報告させていただいた、健康課題解決に向けた個別保健事業の取組が概ね順調に進んでいると成果と考えております。</p> <p>最後に、3ページをご覧ください。今回の計画から新たに設定されました、全国共通である標準化の推進指標の評価としては、現在評価できる2つの指標として、「国保特定健診受診率」と「特定保健指導実施(終了率)」があります。国保特定健康診査の受診率は、本市の目標値50%に対し暫定値39.9%で3やや遅れている、特定保健指導実施率は、目標値30%に対し暫定値18.2%で4大幅に遅れているとなります。令和7年6月27日現在の直近の数値は、国保特定健康診査の受診率40.1%、特定保健指導実施率24.7%となり、評価は、ともに2概ね達成となっております。現在把握できる標準化の推進指標となる国保特定健康診査の受診率、特定保健指導実施率は、上昇傾向となっております。引き続き、関係課及び医師会などの関係機関と連携し国保健診の受診率の向上や、保健指導率の向上等に取り組んでまいります。以上でございます。</p>
小林会長	事務局より、説明いただきました。何かご意見、ご質問があるようでしたらお願いいたします。
岡田副会長	<p>個別の進行管理調書の方になります。まず、1番の特定健康審査等事業にみなし健診受診者率のアップというのが、目標値としてありますが、特定健診のところの問題点というのは、2割が健康状態不明であり、それをいかに把握して、それに対して保健指導をどうしていくかというところが、多分一番重要になると思います。人間ドックとか、あるいはすでに受診しているところからのデータというのは、少なくとも健康に対する意識をそれぞれ持っているから人間ドックを受けたり、きちんと受診したりしているわけですね。それ以外の何もしてないところが一番多分問題であって、そこに対する、アプローチというのは、本来あってしかるべきなんじゃないかと。このみなし健診受診率のところは、人間ドックの診断結果を集めるというのは確かに行政側の汗のたまものかもしれないですけど、検査結果の医師から受領し健診として登録する取り組みというのは、ただでさえ過重労働になっている医師の方にさらに追加の業務をとということですか。</p>
いきいき健康医	今、埼玉県内の健診受診率の高いところで、医師会の先生にお願い

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
療課長	して、人間ドック以外で診療にかかっている方で、健診に近い検査項目を持っている方というデータももらって、それをみなし健診とすることで受診率を向上させるという試みをやっています。加須市も令和7年度から実施するというので、今検討しております。
健康スポーツ部長	医師会の先生方に大変な負担をかけるんじゃないかというお話だと思うのですが、それについては、そのような面もあるというふうに考えております。先ほど担当課長から申しあげましたとおり、県内の受診率が高い団体は全部みなし健診をやっております、やらないと順位が上がらない仕組みになってきていますので、医師会の先生方にご理解いただければと思います。先ほどありましたけれども、健診と同様な項目をやっている場合に限りまして、協力をお願いしていただけるよう、今話を進めようと考えているところでございます。
岡田副会長	1番のところの特定健診受診率が目標値 50%ですよね。実績の暫定値が 39.9%で、みなし健診受診率が実績で 11.5%、合わせて 50%、という形で、これを単純に足し込んでそれを受診率というふうにみなすということですね。
いきいき健康医療課長	この目標値 50%に対しましては、特定健診受診率実績値の 39.9%に、みなし健診受診率 11.5%が含まれておりまして、足し込んで 50%にはならず、全体の受診率は、39.9%ということになっております。
健康スポーツ部長	特定健診を受けていない方の特徴としましては、どんな病気だとしても病院に通っているから、私はもう健診を受けなくて大丈夫と思っている方が多いんですね。でも、それは特定の病気について通っているだけで健診じゃないから、健診してもらうにはどうしたらいいかということで、まずはドクターをお願いして、特定健診は違うものだから受けてくださいということを、医師から直接患者に対しましてはお願いしてやってもらって、それでも、伸び悩んでいる部分があるので、健診に近い診療を受けている方は、みなしでやっていこうという形で伸ばしていきたいというものでございます。
福島(祐)委員	10年ぐらい前は加須市の特定健診受診率は埼玉県でワースト1だったんですね。荒井課長といろいろ話をして、埼玉県で一番受診率が高いところはどこやっているのかちょっと聞いてきてよ、とかいう話をしながら、受診率向上を目指してきて、今、埼玉県の真ん中より上まで上がってきており、徐々に上がってきているかなど。あと、国保の中には、農協の健診を受けているから受けない方もいるし、なるべく患者さんにも受診するように言っているのですが、ドクターによ

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
	<p>てはなかなか患者さんに受診を勧めていない方もいるかもしれませんが。がん検診もそうなんですけども、令和5年度に加須市のがん検診の内容や取組の評価の順位が、埼玉県内でナンバー2まで上がりました。その前が8番だったかと。さいたま市が1番ですけど、受診しやすいという意味では、特定健診もがん検診も受診率は10年前から比べたら、行政と一緒に受診率アップを目指してきて、これでも上昇してきているところではあります。</p>
小林会長	<p>医療系の委員さんにお聞きしたいのですが、3ページの資料で都道府県共通の部分と埼玉県で設定している部分がありまして、HbA1cが8.0%以上、それから6.5%以上という数値が出てくるんですけども、どのような意味があるのかちょっとご説明いただければ大変ありがたいんですが。</p>
福島(祐)委員	<p>8%以上というのは非常にコントロールが悪くて、6.5%切っていればまあまあのコントロールなんですけど、特定健診でいうと、A1cがもっと厳しくて5.5%なんです。加須市、隣の羽生市が埼玉県で一番悪くて、特定健診の5.5%になると、基準以下の人って2割しかないんですよ。ちょっと厳し過ぎるのもあるんですけど。加須も糖尿病の患者さんがかなり多いし、お米がおいしい、うどんもよく食べる。あとは、平らで坂道がないので、運動しても負荷がかからない。土地はいっぱいあって駐車場もいっぱいあるので、300メートル先でも車で買い物に行っちゃう、運動不足などが一番あると思います。患者さんには一生懸命運動するように、あるいはお米おいしいけどあまり食べ過ぎないでねという話はしています。その辺が1番で、運動しないのと、お米やうどんが美味しくていっぱい食べちゃったりというのがあるんじゃないかとは思っています。</p>
小林会長	<p>4ページ以降の細かいデータの個別事業の評価がありますけれども、このデータヘルス計画の説明があったときに、評価指標、進行管理指標としてPDCAを念頭に置いたという話があったと思います。この評価の表の中で、これがPに該当するとかCに該当するということをご説明いただければありがたいと思うんですけど。</p>
いきいき健康医療課長	<p>4ページ、特定健康診査等事業のところの表をご覧ください。目標がPで、実績がD、分析がC、改善点等がAでございます。</p>
岡田副会長	<p>進行管理調書の6番の概ね達成のサロン設置数のところですが、加須市は全自治会で170ちょっとですね。令和4年度が135で、今年は136だと、もう十分どころまできているから、ここに力を入れると</p>

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
	<p>というのはあまり効率的じゃないのかなど。項目として残しておくのはいいけれども、大体行政の仕事って労働集約型だから、そうするとここに人数をかけるよりはない自治会に対して、何とか地域の中で、茶飲み友達でもいいから作ってというような感じでお任せしちゃうのがベターなのかなど。かなり世帯数が少ない30世帯とかそういう自治会もあるんで、そうすると、そういう中で、あえてその区長にサロンをつくりましようと言っても、なかなか厳しいのかなど。それよりはお茶でも飲む会をやってそれをサロンに登録しちゃいましょうよというほうが。そういうところに、支所の福祉の人たちが行って時々顔を出してフレイルの話とかをすると。フレイルの理解度が99.3%、これは、分子と分母はどういうふうになっているのでしょうか。</p>
いきいき健康医療課長	<p>全体の%ではなくて、事業に参加した人に対する理解度になりますので、ちょっと高目に出ているかなと思います。例えば、ふれあいサロンとか筋力アップトレーニング事業とか、そういう事業に来た方にアンケートを取ってまして、その割合を出しているので高めに出ているかと思います。</p>
岡田副会長	<p>はい、わかりました。きちんと一応効果測定みたいな形でやりますよということですね。</p>
いきいき健康医療課長	<p>サロンについては、介護予防サポーターというのを養成してまして、市民のボランティアの方が各サロンの方に行っております。あと、高齢者相談センターの職員も協力してまして、協力して運営している状況でございます。</p>
平井委員	<p>私、ふれあいサロンのほうでサポーターやっております、一応私たちのところでは、加須市で推奨しております転倒無止体操とか、その合間に脳トレとか、歌ったりとか、そういったことで、皆さん楽しく盛り上がってくださって、もう10年近くは続いております。サポーターが4人おまして、一生懸命やっております。私の方も先頭立ってやっておりますけれども、すごく皆さん喜んでくださって、月2回なんですけれども、8月は暑いので、お休みしますよということでちょっと残念がってました。そういったことで、とりあえず健康な方には皆さん大分関心持ってらっしゃるので、これからも参加していただけるようにということでお話をしております。</p>
小林会長	<p>他に何かございますでしょうか。 ないようでしたら、協議事項(3)の「加須市国民健康保険データへ</p>

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
	ルス計画の進捗状況」は、承認ということで、よろしいでしょうか。
各委員	(多くの委員から「はい」という声あり。)
小林会長	次に「その他」とありますが、事務局から何かありますか。
事務局	ございません。
小林会長	次に、報告事項に移ります。
	(1)「専決処分 加須市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。
国保年金課長	それでは、報告資料をご覧ください。改正の趣旨でございますが、基準となる国の法令が令和7年3月31日に改正され、同年4月1日から施行されたことにより、条例の改正について市議会の議決をいただく時間がなかったため、地方自治法に基づき、市長が専決処分したものでございます。その後、6月の市議会において承認をいただいております。改正内容は、最近の物価高などの経済動向を踏まえ、所得の低い世帯に適用されている国保税の「均等割額の軽減」基準となる所得額を引き上げるものでございます。分かりやすいように、1人世帯を例にお話ししますと、5割軽減の基準につきましては、改正前は43万円に、1人世帯なので29万円5千円×1人を足した72万5千円でしたが、1万円引き上げ、73万5千円に改正、2割軽減の基準を、改正前の97万5千円から1万5千円引き上げ、99万円に改正を行い、基準額以下の世帯に対して、それぞれ減額するものでございます。なお、これらの軽減に対しては、県から3/4、の補てんがございまして、市の一般会計負担分1/4を加えて、法定繰入金として、国保の特別会計に歳入されております。
小林会長	事務局より、説明いただきました。 何かご意見、ご質疑があるようでしたらお願いいたします。
小林会長	では、質疑等がないようですので、次に「その他」とありますが事務局から何かありますか。
健康スポーツ部長	お時間を頂戴いたしまして、私の方から、委員の皆さんにご報告が ございます。委員の皆様が「令和7年12月21日」をもって満了となつてございます。今後、急遽の臨時会が開催される場合を除き、任期中の協議会は今回が最後となる予定でございます。委員の皆様におかれましては、これまで、税率の改定や、保険事業の実施など、大きな課題につきまして、ご意見、答申等をいただき、誠にありがとうございました。今期をもって、退任されます方、引き続きやっていただける方もいらっしゃるかと思いますが、これまで委員をお引き受け

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
	いただき、感謝申し上げます。本日で、協議会の委員としての一つの区切りとなるわけですが、今後も、加須市の国民健康保険事業につきまして、格別のご理解とご協力をお願い申し上げまして、お礼の言葉とさせていただきます。
小林会長	委員の皆様には、慎重なるご審議をいただき、ありがとうございました。おかげさまで、本日予定しておりました議事が、すべて終了いたしました。 最後に、副会長の岡田委員から閉会のあいさつをお願いします。
岡田副会長	閉 会
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。</p> <p>令和 7 年 8 月 6 日</p> <p>加須市国民健康保険運営協議会会長 <u>小林一彦</u></p> <p>加須市国民健康保険運営協議会委員 <u>木村幸雄</u></p> <p>加須市国民健康保険運営協議会委員 <u>小川良雄</u></p>	